



今年の冬は寒さもさることながら、雪の日が多い。幼いころは雪も遊びの世界を広げてくれる楽しい冬の贈り物だったが、年齢とともに生活をする事の厳しさを実感させられる。

テレビや新聞では、何人もこの雪が原因で亡くなっていることが報道されている。特に過疎地域の老人の屋根の雪おろしによる事故には心が痛む。90歳近い年齢で屋根に上り雪下ろしをする姿は、称賛すべきか、憐れむべきかはわからないが、私には悲しく映った。

経済大国日本。私たちが追い求めてきたものはこうした社会の姿だったのだろうか。もっと、もっと今日よりは明日、去年よりは今年と、右肩上がりの豊かな経済生活を求める。「稼ぐためには仕方がない」「生きるためには仕方がない」と仕事は何より優先され、大方のことは犠牲にしても誰もが「立派な理由」として認め合える世の中の、どこか確立されてしまったような日本人の感覚が、恐ろしいと思う。

人生の節目談義

「おみがき」 雑感

Y・Oさん

「おはようございます」本堂の戸を開けると、まだ定刻前ではありましたが6〜7名の方が仏具を真ん中にして円座になり、おみがきをされていました。私は、おみがきに対する取り組む姿勢の違いを感じながら座席につき目の前に置かれていた花瓶のおみがきに挑戦しました。
花瓶は、高さ40センチ口が大きく開いた部分の一边が約25センチ位の四角形で、重量感があるうえに全体に込み入った彫りが施されているので、かなり手数がかかる仏具だなと思いおみがきを始めました。

まず、ブラシで全体を何度も何度も擦って液状の金属みがき剤を布にとり磨く。この作業を繰り返して繰り返し黙々と続けていると、表面は満足できる光沢になったが、せめて、八藤紋、牡丹紋の周辺の黒ずみだけでもより輝かせようと集中して磨いていると、いつか読んだ本に、み仏にお供えするお花は、啓愛、感謝、喜び・・・等の思いが込められていると書かれていたことを思い出しました。

念仏みがきかな？
いろいろの思いを込められた花を活ける器なので、おみがきにも心をこめなければ？それでダメなら

さまざまな思いをめぐらせながら一段と力を入れて磨いていくとどうにか輝きは増したので、新聞しでからぶきをしていると「合格、合格」という鑑定士のお助けの声がしたので、その言葉に甘えて磨く手を一時休ませた後、鱧の部分の乾拭きして一件落着とした。

みがき終えた仏具は、どれを見ても美しい光沢で間近に迫った報恩講のお荘厳にふさわしい仏具となっていました。煩惱のくすぶりで曇っている私の心の鏡も誰かおみがきをしてくれる人がいたらと、できない思いが浮かびました。

私にとつておみがきは、集中してただ無心に磨く一時の充実感と、心の再生を図る良い機会でありました。
念仏を 唱えてみがく 花瓶と菊灯

「生かされて」 S・Oさん

「ふるさと大垣案内の会」に所属。ボランティア活動されています。

来ました。新年早々、原稿依頼が。

檀家百軒中の一軒、いざれ順番がまわってくるだろうと思いつつ日々生活に流されていました。幸運な老後を迎えさせていただき、近頃楚々としている中「感謝」の気持ちももてることに喜びを感じています。

お寺様との関わりをつうじて、先祖供養から始まり、将来墓守りをしてくれるであろう孫息子の成長、九十五歳になる義母の健康な姿。

すべて「生かされて」いる自然の摂理の不思議。一生懸命生きてこられたご先祖様があり、健やかな孫の笑顔があり、理解ある主人に守られている今日の自分がある。どれひとつ欠けても幸せな時は流れない。「感謝」・・・改めて、ボランティア活動に意欲を燃やす高齢者の一人です。

梅まつり開催

二月二十七日（日）～
三月六日（日）

（ライトアップ・・・三月十二日）



テーマ「愛」
秀瑤書院展
同時開催

月刊誌『さくら』二月号に掲載。

その他インターネットにて、「光受寺」で検索。
ユーチューブでは映像が流れています。

昨年は例年にも増して多くの方が来てくださいました。
今年は「飛龍梅」の枝の出具合も良く、花芽のつきもよさ
そうなので、また今年も楽しんでいただけたらと思います。

春季永代経のご案内

三月二十一日（月） 春分の日 午前・午後 お齋あります。

午前 九時三十分より

読経

法話 本来寺住職 里雄敬意師

お 齋

午後 十三時より十四時三十分

読経

法話 光受寺住職

通信の原稿を募集しています。

口頃の思いや、体験談・趣味など何でも結構です。

文章にしてみたいやう。

自分の思いが整理できたり、意外にも自分の思いに矛盾があることに気づいたり、言葉にする苦しさはあるけれど、自分の気持ちをつましく表現できた時の喜びがあったり、楽しいですよ。

住職も老化防止にと、言葉の創作に心がけています。柔らかい心を持って生きていきたいと思っております。

投稿された方の文章を読んだ感想でも結構です。

とにかく何でも結構です。原稿をお待ちしています。

光受寺同朋会参加者募集

趣味や習い事とは異なる喜びや、充実感。社会的地位や年齢を超えた人間と人間の関わりの中での共感を、味わってほしいと思います。

理屈ばかりの人生ではつまらなくなっ

た。感じのいい心をつたえたいなと思っ

そんな仲間がここにいます。